

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	福井大学	整理番号	1-5-013
応募テーマ	大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	地域と協働する実践的教員養成プロジェクト		
申請単位	学部単位		
申請担当者	松木 健一		
<p>(取組の概要)</p> <p>いま、教員養成系学部の在り方が問われている。大学が地域と共生して地域貢献しつつ、教師の力量形成を促す取組を開発し、公開していくことは国立大学の使命である。教育地域科学部では、不登校問題や学校5日制に対応して10年前よりライフパートナー事業、9年前より探求ネットワークを地域と協働して立ち上げた。ライフパートナーは、学生が不登校児の家庭や相談室等に出かけ、共に話し遊び学習の援助者になる活動である。この活動は授業によってサポートされ、教育委員会や現職教員が参加したケース検討会を行なっている。市町村教育委員会の提携の下で、各自治体からの諸経費等のサポートを得て、現在130名の学生が220名の不登校児と1年間活動を共にしている。一方、探究ネットワークは、子どもの主体的な学習活動を学生が援助する。隔週土曜日に300名の子どもが大学に集まり、120名の学生と1年間にわたって活動を続ける。学生は、授業の中で活動を企画し準備を行い、その成果は、学生と教員による発表の場を設け、他大学を招いた公開討論を毎年行っている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、福井大学教育地域科学部の教育方針である教員養成における実践的力量の形成を高めるために、すでに10年にわたって組織的に実施されているものであり、大きな成果を上げているものとして高く評価します。</p> <p>特に「ライフパートナー事業」と「子供たちの探求のコミュニティーを支える探究ネットワーク」の2つのプロジェクトは、現在の家庭・学校、地域社会が抱える問題に、大学が主体的に取組むことで地域貢献しつつ、教師の力量形成を促すという両面を追究する仕組みとなっています。</p> <p>福井大学の取組は、他の教員養成系の大学・学部にも応用・展開できる先進的な事例として、優れた特色ある教育活動と認められるものと思います。</p>			